

第3回道路・交通共同ワークショップをベトナム交通省と成功裏に開催

本年3月に日本側及びベトナムが合意した研究連携ロードマップに基づき、第3回道路・交通共同ワークショップをベトナム交通省 ITST（ハノイ）にて開催しました。

第3回ワークショップは、透水性舗装、防水デッキ、港湾の各研究連携ロードマップにしたがって実施されました。また、本年2月の共同ワークショップで日本側から提案された暴露試験に関する協力についても議論が行われました。

双方は、知的交流の継続性の観点から中堅・若手研究者が戦略的に共同研究に参画することの重要性を再確認しました。また、ワークショップにおける活発な意見交換や討論を通じて技術的知見の共有のみならず、より友好関係が深められました。特に ITST による現場見学は、ベトナムの現状についての理解を深め、今後の研究活動をより一層推進する良い機会となりました。



全般セッションでは、日本側より最新の話題として東日本大震災の被害状況やその対応を紹介するとともに、ベトナム側からの哀悼の意に深く感謝する旨を述べました。

ベトナム側からは、日本側の協力のもとで研究活動をより時宜を得たものにしていくため4つの新しい研究室を設置するビジョンについて説明がありました。これに対し日本側はこれを快く支援する旨表明しました。

ロードマップセッションでは、発表及び熱心な討論の後、双方は第2回共同ワークショップで合意した各研究連携ロードマップ（道路騒音、透水性舗装、トンネル建設・維持管理、港湾施設更新・維持管理）にしたがい2011～2012年に行う具体的な活動内容について合意しました。

第4回共同ワークショップは、2012年早期にダナンで開催することがベトナム側から提案され、同会合では双方の研究連携ロードマップに応じた進捗状況に係る情報を共有する予定です。

(国際研究推進室)